

所員活動一覧

雑誌名	日文研
巻	50
ページ	75-86
発行年	2013-03-29
URL	http://doi.org/10.15055/00004139

所員活動一覽（二〇一二年四月一日～九月三〇日）

荒木 浩

●著書

『説話集の構想と意匠 今昔物語集の成立と前後』（単著）勉誠出版 二〇一二年四月

『創立四〇周年特別展示「鴨長明とその時代 方丈記八〇〇年記念」図録』（共著）国文学研究資料館 二〇一二年五月

●論文

「書物の成立と夢―平安期往生伝の周辺―」上杉和彦編『生活と文化の歴史学1 経世の信仰・呪術』竹林舎 二〇一二年五月

●その他の執筆活動

「人間文化研究機構第一八回公開講演会・シンポジウム『不安の時代をどう生きるか―鴨長明と「方丈記」の世界』発表（一）『姿・身・心―

「方丈記」の自伝性と外部世界』、『パネルディスカッション』『人間文化』Vol.17 二〇一二年九月

「ニュースの本棚 方丈記八〇〇年」『朝日新聞』二〇一二年八月五日（ネット版 <http://book.asahi.com/reviews/column/1200.html>）「方丈記800

年 荒木浩さんが選ぶ本」

「司会 座談会の記録『国際交流の展望』『日文研』四九号 二〇一二年九月

伊東貴之

●その他の執筆活動

「書評 渡辺浩『日本政治思想史 十七～十九世紀』』『日本一八世紀学会年報』第二七号 二〇一二年六月

「書評 筆触に刻まれた中華文明の歴史―身体化された精神史の顕現として―石川九楊『説き語り 中国書史』『週刊読書人』第二九五三号

二〇一二年八月二十四号

「書評『台湾』の痛苦と悲哀、一九四九年への／からの軌跡―外省人の故郷喪失と流浪の境涯を活写したベストセラー―龍應台『台湾海峡

一九四九』『図書新聞』第三〇七七号 二〇一二年九月八日号

磯前順一

●著書

『宗教概念あるいは宗教学の死』東京大学出版会 二〇一二年七月

●論文

「チューリヒのC・G・ユング―他者としての内面」『みずす』二〇一二年八月号 (No. 607)

●その他の執筆活動

「フロンティア列伝 宗教からファン心理に迫る 磯前順一さん」『朝日新聞』（夕刊）二〇一二年四月二八日

「アラブから近代日本を考える―複数の近代をめぐって」『中外日報』二〇一二年六月六日

稲賀繁美

●著書

『東洋意識 夢想と現実のあいだ 一八八七―一九五三』（編著）ミネルヴァ書房 二〇一二年四月

●論文

“Bricolage: Towards a Scripture: A Proposal of a New Concept,” *Critical Interventions (Journal of African Art History and Visual Culture)* Number 9/10, Spring 2012.

「世界美術史の海賊史観にむけて：文明の海洋史観を越えて：Pirates Views of the World Art History: beyond the Oceanic View of the Civilizations 国際会議『インド洋、海賊と美術史』Piracy, Art History and the Indian Ocean シドニー大学 二〇一二年三月二一―二三日より」(一)『あいだ』一九二号（連載第八六回）二〇一二年四月、(二)一九三号（連載第八七回）二〇一二年五月、(三)一九四号（連載第八八回）二〇一二年六月

「翻訳はいかに骨折するか、あるいは骨折をどう翻訳するか―日本詩歌・藝術の非線状的説話構造の欧米言語における受容をめぐる設問」川本 皓嗣・上垣外憲 編 大手前大学比較文化研究叢書 八『比較詩学と文化の翻訳』二〇一二年六月

“Crossing Axes: Orientalism and Occidentalism in Modern Visual Representations of Manchukuo (1931-1945),” Evgeny Steiner ed., *Orientalism/Occidentalism: Languages of Cultures vs. Languages of Description*, 2012.

『愛の錠前』に占拠されたバリの橋―脱美術館と観衆との『あいだ』を考える』一九六号（連載第八九回）二〇一二年九月

●その他の執筆活動

「生き残る（とろうこむ）」“Survival: At the end of the year 2011-to the memory of the lost lives at the 3.11 Earthquake”『環』vol. 49 藤原書店 二〇一二年四月

「日本哲学を世界にひらくJapanese Philosophy: A Source Book の目論見」『図書新聞』第三〇六〇号（連載一三〇）二〇一二年四月

「市民の都市生活と博物館―ハーレムのテイラー博物館とその周辺」『月刊みんぱく』二〇一二年六月

「受け身の効能」『赤門合気道』平成二四年度 第五三号 東京大学合気道部・赤門合気道倶楽部 二〇一二年六月

「名誉顧問のお言葉」『かみはま合気道』二〇一二年度版 第一四号 三重大学合気道部OB会 二〇一二年六月

「古蘭あり香蘭あり…日本語による『クルーアン』受容と諸問題」『図書新聞』第三〇六九号（連載一三一）二〇一二年七月

「裏側からみた日本―サン・パウロで日本を論じる―」『鴨東通信』No.86 思文閣出版 二〇一二年七月

井上章一

●その他の執筆活動

「大素人集団の妙味―『美人論』再考」『中央公論』二〇一二年四月号

「美しい人間の顔」総合研究大学院大学学生セミナー実行委員会編『研究者三四人に聞くあなたにとって美しいものとは』二〇一二年四月

「書評 藤田達生著『秀吉と海賊大名』『日本経済新聞社』（夕刊）二〇一二年四月一日

「書評 本郷恵子著『蕩尽する中世』『週刊ポスト』二〇一二年四月二七日号

- 〔書評〕 キャサリン・ハキム著『エロティック・キャピタル』『日本経済新聞社』（夕刊）二〇一二年五月二日
- 〔句のテーマを読む〕 巨大タワー』『エコノミスト』二〇一二年五月一五号
- 〔書評〕 レム・コールハース他著『プロジェクト・ジャパン メタポリズムは語る…』『日本経済新聞社』（夕刊）二〇一二年五月二三号
- 〔本来日本には陰毛を剃る文化はなかった』『週刊現代』二〇一二年五月二六号
- 〔現代の建築家・七 武田五一―軽く、うすく、たおやかに―』『GA JAPAN』116 二〇一二年五月
- 〔対談 鹿島茂×井上章一×伴田良輔』なぜ女子はヘアを剃るのか』『週刊現代』二〇一二年六月二日号
- 〔書評〕 安田寛著『バイエルの謎』『日本経済新聞社』（夕刊）二〇一二年六月一三日
- 〔書評〕 佐藤卓己著『天下無敵のメディア人間』『週刊ポスト』二〇一二年六月二二日号
- 〔昔の女性たちはパンティなしでも平気だった』『週刊現代』二〇一二年六月二三号
- 〔仁徳陵から丹下健三まで 日本の建物一〇選』共同通信社取材班『建物と日本人 移ろいゆく物語』東京書籍 二〇一二年六月
- 〔書評〕 鹿島茂著『幸福の条件―新道徳論』『潮』二〇一二年七月号
- 〔『旅と観光の年表』を読む』『まほら』七二号 二〇一二年七月
- 〔書評〕 五味文彦著『後鳥羽上皇』『日本経済新聞社』（夕刊）二〇一二年七月四日
- 〔書評〕 土肥恒之著『西洋史学の先駆者たち』『日本経済新聞社』（夕刊）二〇一二年七月二五日
- 〔現代の建築家・八 堀口捨己―メディアの可能性ともむきあって―』『GA JAPAN』117 二〇一二年七月
- 〔書評〕 秋尾沙戸子著『スウィング・ジャパン』『日本経済新聞社』（夕刊）二〇一二年八月一五日
- 〔書評〕 今谷明著『天皇と戦争と歴史家』『東京新聞』二〇一二年八月一九日
- 〔書評〕 竹内洋著『メディアと知識人』『週刊ポスト』二〇一二年八月三一日号
- 〔日文研創立二五周年―五月二三日の夕べに思ったこと』『NICHIBUNKEN NEWSLETTER』No. 85 二〇一二年九月
- 〔書評〕 保立道久著『歴史のなかの大地動乱』『日本経済新聞社』（夕刊）二〇一二年九月五日
- 〔書評〕 田野大輔著『愛と欲望のナチズム』『日本経済新聞社』（夕刊）二〇一二年九月二六日

「現代の建築家・九 前川國男―コルビュジェからスキム―」『GA JAPAN』118 二〇一二年九月

牛村 圭

●論文

「ストックホルムの旭日―「世界の一等国」を目指した明治のアスリート」『中央公論』二〇一二年八月号

●その他の執筆活動

「現代のことば スーツ姿が発することばを聴く」『京都新聞』（夕刊）二〇一二年五月九日

「現代のことば 『蹲踞法』 vs. 『直立法』」『京都新聞』（夕刊）二〇一二年七月五日

「現代のことば オリンピックのことば」『京都新聞』（夕刊）二〇一二年九月三日

榎本 渉

●論文

“The Current State of Research on the History of Japan's Contacts with Other Countries in the First Half of the Medieval Period,” *ACTA ASIANTICA* No. 103, August 2012.

「僧伝出版から見た清初仏教と江戸仏教」『歴史と地理』No. 656 山川出版社 二〇一二年八月

フレデリック・クレインス

●著書

『ニューエクスプレス オランダ語単語集』白水社 二〇一二年七月

倉本一宏

●その他の執筆活動

「最初の『天皇』のカリスマ 天武天皇」『文藝春秋 SPECIAL』平成二十四年季刊夏号 二〇一二年四月

「史料・文献紹介 『御堂関白記』『歴史と地理』No.655 山川出版社 二〇一二年六月

「司会 座談会の記録『共同研究をめぐって—今日までそして明日から』『日文研』四九号 二〇一二年九月

小松和彦

●著書

『妖怪文化入門』（単著）角川ソフィア文庫 二〇一二年六月

●その他の執筆活動

「序章 異界への案内」佐々木高弘著『京都妖怪案内』大和書房 二〇一二年六月

「4で知るアート 妖怪のからだ 顔」『朝日新聞』（東京版・夕刊）二〇一二年七月二五日

「4で知るアート 妖怪のからだ 首」『朝日新聞』（東京版・夕刊）二〇一二年八月一日

「4で知るアート 妖怪のからだ 胴」『朝日新聞』（東京版・夕刊）二〇一二年八月八日

「4で知るアート 妖怪のからだ 手」『朝日新聞』（東京版・夕刊）二〇一二年八月一五日

佐野真由子

●論文

「帝国支配と文化交流の間——ブリティッシュ・カウンシルのインド進出をめぐって」稲賀繁美編『東洋意識 夢想と現実のあいだ

1887-1953』ミネルヴァ書房 二〇一二年四月

●その他の執筆活動

「東アジアの歴史をつくった人たち——研究雑感」『爽快』第二五号 二〇一二年四月

白幡洋三郎

●著書

『庭「にわ」を読み解く』淡交社 二〇一二年三月

●その他の執筆活動

「ガーデニングと園芸」『TASC MONTHLY』No.436 二〇一二年四月

「桜と日本人」『朝日新聞』（書評欄）二〇一二年四月八日

「伴を慕う心——日本文化の創造力」『鶴岡致道大学 平成二三年度講義記録 文化の力を考える——その継承と創造のために——』鶴岡市・鶴岡総合研究所 二〇一二年六月

鈴木貞美

●論文

「中村真一郎『青春日記』に寄せて」『中村真一郎手帖』第七号 二〇一二年四月

「野上豊一郎の『創作』的翻訳論をめぐる——翻訳の文化史へ——」『文学』二〇一二年七・八月号 二〇一二年七月

「モダニスト宮澤賢治」（魏大海訳）『日本文学研究・多元視点と理論深化 中国日本文学研究會 延辺大学十二届年会論文集』二〇一二年八月

●その他の執筆活動

「アジアを知る三冊——世界を渡る大気流を読む」『アジア遊学』一五〇 アジアの教養を考える——学問のためのブックガイド』二〇一二年五月

「インタヴュ構成 『新青年』研究から見えてきたもの」（再録）東雅夫編『幻想文学講義』国書刊行會 二〇一二年八月

末木文美士

● 著書

『日本思想史講座一―古代』(編著) ペリかん社 二〇一二年四月

『日本思想史講座二―中世』(編著) ペリかん社 二〇一二年七月

『現代仏教論』新潮新書 二〇一一年八月

『日本をつくった名僧一〇〇人』(編著) 平凡社 二〇一二年九月

● 論文

『平安仏教論』『日本思想史講座一―古代』ペリかん社 二〇一二年四月

『総論 中世の思想』『日本思想史講座二―中世』ペリかん社 二〇一二年七月

『田辺元の『懺悔道としての哲学』における親鸞解釈』今井雅晴先生古稀記念論文編集委員会編『中世文化と浄土真宗』思文閣出版

二〇一二年八月

『재해와 일본의 사상』(災害と日本の思想)『특집 일본비평』七 二〇一二年五月

『新しい哲学を目指して』『Fukujin』No.16 白夜書房 二〇一二年八月

● その他の執筆活動

『The Hekigan-roku, Translated by Daisetz T. Suzuki (編集)』『松ヶ岡文庫研究年報』第二十六号別冊 二〇一二年三月

『記念講演「現代における浄土教の課題」』『真宗学』一二五号 二〇一二年三月

『《智山伝法院主催公開シンポジウム》『近代仏教を問う―仏教の近代化とは何だったのか?』講演録』『現代密教』第二三号 二〇一二年三月

『天台本覚思想』道元徹心編『天台―比叡に響く仏の声―』自照社出版 二〇一二年三月

『仏典に学ぶ』『朝日新聞』(関西版・夕刊)二〇一二年四月二三日、五月二八日、六月二五日、七月三〇日、八月二七日、九月二四日

『シンポジウムコメント記録』外国人学者の眼に映ったカミ・ホトケ』『神道国際学会第一五回神道セミナー…講演録』二〇一二年四月

『書評 鈴木大拙の再評価に向って』『ちくま』第四九三号 二〇一二年四月

『新刊紹介 フレデリック・ルノワール著／今枝由郎＋富樫櫻子訳『仏教と西洋の出会い』『近代仏教』第一九号 二〇一二年五月

『エッセー 生活の中の仏教』『弘道』一〇七八号 二〇一二年五月

『シンポジウムコメント記録 日本仏教の総合研究とは何か―新たな視覚を求めて―』『日本仏教総合研究』第一〇号 二〇一二年五月

『書評 近世の仏教―真義真言を中心として』『日本歴史』二〇一二年五月号（七六八）

『書評 立川武蔵『アジアの仏教と神々』（法蔵館）』『週刊読書人』二〇一二年七月一三日号

『インタビュー ニッポン『地獄』考』『地獄の本』洋泉社 二〇一二年八月

『書評 古語大鑑で仏典を読む』『UP』四七九 二〇一二年九月

『書評 唐宋禅研究への大胆な提言―ジョン・R・マクレレー著／小川隆解説『虚構ゆえの真実―新中國禅宗史』『東方』三七九号

二〇一二年九月

瀧井一博

●その他の執筆活動

『インタビュー フロンティア列伝』『朝日新聞』（関西版・夕刊） 二〇一二年六月六日

『書評 千葉功著『桂太郎』『日本経済新聞』 二〇一二年七月八日

『事典項目 富井政章』宮地正人・佐藤能丸・櫻井良樹編『明治時代史大辞典』第二巻 吉川弘文館 二〇一二年七月

戸部良一

●著書

『シリーズ日本の近代 逆説の軍隊』中公文庫 二〇一二年七月

『失敗の本質―戦場のリーダーシップ篇』（野中郁次郎、杉之尾宜生、土居征夫、河野仁、山内昌之、菊澤研宗と共著）ダイヤモンド社

二〇一二年七月

●その他の執筆活動

- 「解説」読売新聞社編『昭和史の天皇4 玉音放送まで』中公文庫 二〇一二年四月
 「基調講演 戦略研究と歴史研究の対話―戦前日本の対中国戦略をめぐって」『文献紹介 マイケル・ノーマン／エリザベス・M・ノーマン著（浅岡政子／中島由華訳）『パターン 死の行進』『戦略研究』第一一〇号 二〇一二年四月
 「文献紹介 野上元・福岡良明編『戦争社会学ブックガイド』『軍事史学』第四八巻第二号 二〇一二年九月

ジョン・ブリン

●論文

- 「近代外交体制の創出と天皇」荒野泰典他編『日本の対外関係七 近代化する日本』吉川弘文館 二〇一二年三月
 ●その他の執筆活動
 「日吉大社の神々」『滋賀山王会会報誌 山王信仰』一 二〇一二年
 “Shinto,” Helmut Anheier, Mark Jurgensmeyer ed., *Encyclopedia of Global Studies*, vol. 4, Sage, 2012.
 「監修」Mary Pat Fisher, *Living Religions* (7th Edition), Prentice Hall, 2012.
 「編集」*Japan Review* Vol. 24, Aug. 2012.
 「インタビュー フロンティア列伝 変貌続ける伊勢神宮」『朝日新聞』（夕刊）二〇一二年九月一九日

細川周平

●論文

- “Onyaku, Onkyō/Music, Sound,” *scholarship*. Center for Japanese Studies, UC Berkeley, University of California, <http://scholarship.org/uc/search?keyword=Shuttei+Hosokawa>

“The Walkman Effect,” reprinted in Jonathan Sterne (ed.), *The Sound Studies Reader*, Routledge, New York, 2012.

●その他の執筆活動

「書評 音盤時代編集部編著『音盤時代の音楽の本の本／グレートハンティング・オブ・ミュージックブック』『ミュージック・マガジン』二〇一二年四月号

「ゲリー・ゴフィン／キャロル・キングを聞きながら」、『音盤時代』Vol.2 二〇一二年四月

「コンサート評 エゴ・ラッピン」『毎日新聞』（関西版・夕刊）二〇一二年四月二五日

「CD解説 モダンニッポンーダイナと書生節ジャズ」『ニッポンジャズ水滸伝 天之巻』華宙舎レーベル

「美しき車両キハハ二系」総合研究大学院大学学生セミナー実行委員会編『研究者三四人に聞くあなたにとって美しいものとは』二〇一二年四月

「対談 細川周平×中山康樹『民謡から見た世界音楽』で提示されたジャズ史観を考察する」『JAZZ JAPAN』vol. 22 二〇一二年六月号

「日系ブラジル人とレコード」、森本豊富・根川幸男編著『トランスナショナルな「日系人」の教育・言語・文化―過去から未来に向けて』明石

書店 二〇一二年六月

「コンサート評 堺正章とクレイジーケン・バンド」『毎日新聞』（関西版・夕刊）二〇一二年八月八日

「コンサート評 ドス・オリエンタレス」『毎日新聞』（関西版・夕刊）二〇一二年九月一九日

山田奨治

●論文

「『百鬼夜行絵巻』写本の系統」中尾央・三中信宏編著『文化系統学への招待―文化の進化パターンを探る―』勁草書房 二〇一二年五月

●その他の執筆活動

「識者評論 違法ダウンロード問題 拙速な刑事罰化に危うさ」『山陽新聞』二〇一二年四月二一日他（共同通信社配信）

「コメント 記者有論 海賊版の受信 拙速な罰則化に違和感」『朝日新聞』二〇一二年五月五日

「座談会の記録『国際交流の展望』」『日文研』四九号 二〇一二年九月

劉 建輝

●論文

「近代東アジアの成立とその歴史的力学——中露・中韓国境問題を手掛かりに」『韓日文化交流と表象Ⅱ』全南大学校日本文化研究センター 二〇一二年五月

「侮蔑、趣味、憧憬、威脇——近代日本知識分子的中國表象」(中国語)『日本文学研究——多元視点與理論深化』(日本文学研究会延辺大学十二届年会論文集) 青島出版社 二〇一二年八月